CG-HDC4EU3500 取扱説明書

Contents

Y613-19095-00 Rev.C

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例）

「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例）

「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは ACアダプタをほかの機器に使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

警告

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。

また、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは、ケーブル部を持って抜かないでください。

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。

発熱して火災の原因となります。

アース線を接続してください。

本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。

感電、けが、火災、故障の原因となります。

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはAC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。

感電の原因となります。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

感電の原因となります。

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。

けがの原因となります。

⚠警告

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。
窒息する原因となります。

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。
けが、故障の原因となります。

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。
・多段積み
・通風孔をふさぐ
・前後左右、上部に十分なスペースがない
内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。
また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

⚠注意

本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。

・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなど高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所
・水などの液体がかかる場所
・振動のある場所
・ほこりの多い場所
・じゅうたんや布団などのある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
・天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

感電、火災、故障の原因となります。

お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

設置または移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

感電、火災の原因となります。

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

火災の原因となります。

本商品に強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。

感電、故障の原因となります。

はじめに

このたびは、「CG-HDC4EU3500」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-HDC4EU3500 のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数のOS を「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○取扱説明書（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、使用方法について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第１章　お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

■第２章　設置と接続

この章では、本商品の設置方法と接続方法について説明します。

■第３章　本商品の設定方法

この章では、本商品で設定できる RAID について説明します。

■第４章　Q&A

この章では、トラブルの対処方法やよくある質問について説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

付属品一覧

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-HDC4EU3500 本体
- □ AC アダプタ（90cm）
- □ 電源ケーブル（2 極アース端子付き　アンチトラッキング対応 1m）
- □ ハードディスク固定用ハンドル× 5
- □ ハードディスク固定用ネジ× 10
- □ USB ケーブル（1m）
- □ eSATA ケーブル（1m）
- □ eSATA ブラケット（45cm）
- □ ロープロファイル PCI ブラケット
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 製品保証書

動作環境

本商品は、次のハードウェア環境を持つパソコンで使用できます。

■対応パソコン

・eSATA 端子を標準搭載している DOS/V パソコン
・SATA 端子を内部に標準搭載している DOS/V パソコン
（付属の eSATA ブラケットを使用）
・USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン
・USB 端子を標準搭載している Macintosh

■対応 OS

・Windows Vista/XP/2000
・Mac OS X 10.4 以降

・自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどであとから増設したパソコンはサポート対象外です。
・eSATA ケーブルと USB ケーブルとを同時に接続して使用することはできません。eSATA ケーブルまたは USB ケーブルのどちらかを接続して使用してください。
・USB のホットプラグは、接続する機器のコントローラに準拠します。
・eSATA 接続は、ホットプラグに対応していません。
・Macintosh は、USB2.0 接続のみ対応しています。

目次

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

1.1　本商品の特長

本商品は、3.5 インチ SATA（シリアル ATA）ハードディスクを最大 4 台内蔵して、外付けハードディスクとして使うことのできるハードディスクケースです。
本商品は次のような特長があります。

・ **4 台のハードディスクを使った RAID に対応**

最大 4 台のハードディスクで、RAID 0（スパニング、ストライピング）、RAID 1（ミラーリング）、RAID 3、RAID 5、RAID 10 の RAID 構成で使用できます。

・ **オートリビルド（自動再構築）に対応**

万が一ハードディスクが故障した場合、新しいハードディスクに取り替えて、自動的にリビルド（再構築）することで、RAID を復旧することができます（RAID 1、RAID 3、RAID 5、RAID 10 のみ）。

・ **ホットスワップ／ホットプラグに対応**

本商品の電源を切ることなく、ハードディスクの取り替え、または USB ケーブルの取外しができます。

※ eSATA 接続はホットプラグに対応していません。

・ **冷却ファンコントロール機能を搭載**

内部温度に連動して自動的に冷却ファンの回転数を制御します。

・ **PC 連動電源機能を搭載**

接続しているパソコンの電源がオン／オフするのに合わせて、本商品の電源がスリープモード（低消費電力）になります。

・ **高速 eSATA 接続に対応**

パソコン内蔵用の SATA ハードディスクをそのまま外付けハードディスクとして使用するため、内蔵ハードディスクと同等の高速転送を実現します。

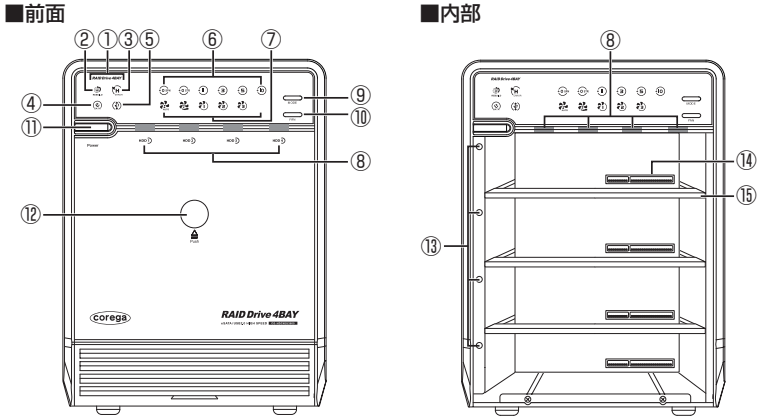
※ eSATA ケーブルを使用してパソコンと接続します。パソコン側に eSATA 端子が付いていない場合でも内部に SATA 端子があれば、付属の eSATA ブラケットで使用できます。

・ **汎用性の高い USB2.0 接続に対応**

USB 接続では、Windows Vista/XP/2000、Mac OS X 10.4 以降に対応し、より多くのパソコンで使用できます。

- **いかなる原因においても、本商品に取り付けたハードディスクおよび内部のデータは保証いたしません。ハードディスク内のデータは、必ずほかのメディアにバックアップしてください。**
- **eSATA および USB の同時接続はできません。**

1.2　各部の名称と機能

1.2.1　前面／内部

① Power LED（RAID Drive 4BAY）

本商品の電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	本商品の電源がオンなっていて、次のような場合の状態です。 ・本商品に接続しているパソコンが起動しています。
橙	点灯	本商品の電源がオンなっていて、次のような場合の状態です。 ・本商品に接続しているパソコンの電源がオフになっています。 ・本商品に接続しているパソコンがスリープ状態です。 ・本商品がパソコンに接続されていません。
−	消灯	本商品の電源が入っていません。

②REBUILD LED

本商品に取り付けたハードディスクがリビルド（再構築）中であることを表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点滅	リビルド（再構築）中です。
－	消灯	ハードディスクが正常にRAIDを構築しています。

③HDD ERROR LED

ハードディスクに障害が発生していることを表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	本商品は次のような状態です。 ・接続しているいずれかのハードディスクに障害が発生しています。 ・RAIDの構築が正常でない状態です。リビルド（再構築）が終了後に消灯します。
－	消灯	本商品は次のような状態です。 ・ハードディスクが正常に動作しています。 ・RAIDが正常に構築されています。

④eSATA LED

本商品がeSATAケーブルで接続しているかを表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	本商品とパソコンがeSATAケーブルで接続されています。
－	消灯	本商品とパソコンがeSATAケーブルで接続されていません。

⑤USB LED

本商品がUSBケーブルで接続されているかを表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	本商品とパソコンがUSBケーブルで接続されています。
－	消灯	本商品とパソコンがUSBケーブルで接続されていません。

⑥ RAID LED（0 SPN、0 STR、1、3、5、10）

本商品の RAID の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点灯	0 SPN：RAID 0（スパニング）に設定されています。 0 STR：RAID 0（ストライピング）に設定されています。 1：RAID 1（ミラーリング）に設定されています。 3：RAID 3 に設定されています。 5：RAID 5 に設定されています。 10：RAID10 に設定されています。
橙	点滅	RAID 設定を変更できる状態です。

RAID について詳しくは、P.73「付録 RAID とは」をご覧ください。

⑦ FAN LED（AUTO、手動、1、2、3）

本商品のファンの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	AUTO：本体内部の温度に応じて、冷却ファンの速度は自動的に変わります。 手動：冷却ファンの設定が手動設定になっています。ファンの回転速度は以下のとおりです。 1：1200 ～ 1800rpm 2：1800 ～ 2500rpm 3：2500 ～ 3500rpm

冷却ファンについて詳しくは、P.71「付録 冷却ファンコントロール機能について」をご覧ください。

⑧HDD Status LED

ハードディスクの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	ハードディスクを正常に認識しています。
紫	点滅	ハードディスクにデータを読み書きしています。
紫／赤	交互に点灯	リビルド（再構築）中です。
ー	消灯	ハードディスクが接続されていない、またはハードディスクを正常に認識していません。

⑨MODE ボタン

RAID の設定を切り替えます。詳しくは、**P.48** 「3.1　RAID を設定する」をご覧ください。

⑩FAN ボタン

冷却ファンの設定を切り替えます。詳しくは、**P.71**「**付録**　冷却ファンコントロール機能について」をご覧ください。

⑪Power ボタン

本商品の電源をオン／オフします。

⑫カバー開閉部

この部分を押すと、カバーの開閉ができます。

⑬HDD Error LED

ハードディスクに障害が発生していることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	・障害が発生しています。 ・リビルド中です。
ー	消灯	本商品は次のような状態です。 ・ハードディスクが正常に動作しています。 ・RAID が正常に構築されています。

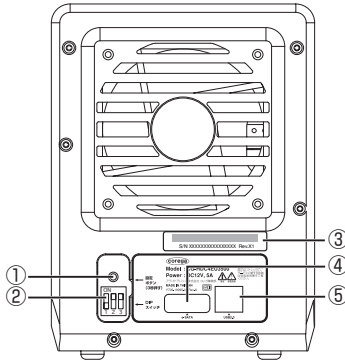
⑭SATA 端子

ハードディスクを取り付けるためのコネクタです。

⑮ガイド

ハードディスクを取り付けるときのガイドです。

1

1.2.2　背面

① RAID 設定ボタン（設定ボタン）

RAID 設定を確定します。詳しくは、**P.48**「3.1 RAID を設定する」をご覧ください。

② HDD 選択スイッチ（DIP スイッチ）

ハードディスクの台数、ハードディスクのパーティションの配置を設定します。詳しくは、**P.23**「2.2 HDD 選択スイッチを設定する」をご覧ください。

③シリアル番号ラベル

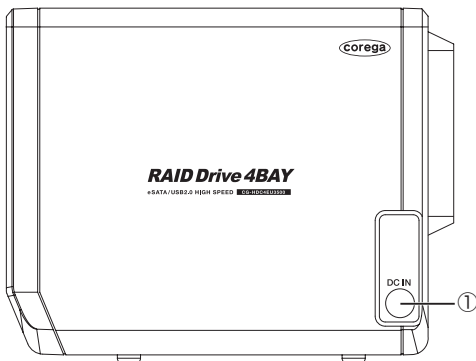
本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンはコレガサポートセンタへの問い合わせのときに必要となります。

④ eSATA ポート

eSATA ケーブルを接続します。詳しくは、**P.34**「2.4 本商品を接続する」をご覧ください。

⑤ USB2.0 ポート（シリーズ B）

USB ケーブルを接続します。詳しくは、**P.34**「2.4 本商品を接続する」をご覧ください。

1.2.3　右側面

①DC ジャック

AC アダプタの DC プラグを接続します。

- 必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- 本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

第 2 章
設置と接続

この章では、本商品の設置方法と接続方法について説明します。

2.1　本商品を設置する

本商品を設置する前に、P.2 「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。本商品にはゴム足が取り付けられています。デスクの上など水平な場所に設置してください。

設置については、次の点にご注意ください。

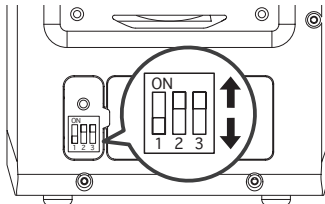
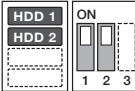
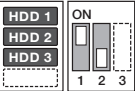
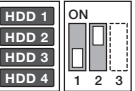
- ・電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- ・AC アダプタは、付属の本商品専用の AC アダプタを使用してください。
- ・十分な換気ができるように、本商品背面の冷却ファンをふさがないように設置してください。
- ・本商品の上に物を置かないでください。
- ・直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- ・本商品を屋外で使用しないでください。
- ・コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。
- ・パソコンやモデムなど発熱する機器の近くには設置しないでください。
- ・モニタやスピーカなど磁気を帯びた機器の近くには設置しないでください。

2.2　HDD 選択スイッチを設定する

本商品は、最大 4 台のハードディスクを取り付けて RAID を構築して使用できます。あらかじめ使用するハードディスクの台数に応じて、本体背面の HDD 選択スイッチ（DIP スイッチ）を設定します。

HDD 選択スイッチの設定場所は次のとおりです。

- 本商品に取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。
- 本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。
- 本商品は RAID の構築を設定して電源をオンにすることで、自動的に RAID の構築が始まります。また、RAID構築のあとにハードディスクを追加、RAIDの変更をすると、再度 RAID の構築が必要となります。その際、取り付けたハードディスクのデータはすべて消去されますので、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 本商品は必ずハードディスク 2 台以上を接続して使用してください。1 台では正しく動作しません。
- 本商品では、RAID の設定に応じて 1 台または 2 台のハードディスクに障害が発生してハードディスクを取り替えた場合、本商品の電源をオンにすることで、自動的にリビルド（再構築）されます。リビルド中は本商品の電源をオフにしないでください、故障の原因になります。詳しいリビルドの動きについては、**P.50**「3.1.2 オートリビルド（自動再構築）について」をご覧ください。

本商品の背面のふたを取り外して、HDD 選択スイッチを設定します。HDD 選択スイッチを設定するには、不要になったボールペンなど先のとがったものを使用してください。

HDD 選択スイッチの組み合わせは、**P.24**「2.2.1 HDD 選択スイッチの設定」、または本体前面のカバーの裏面にあるラベルをご覧ください。

2.2.1 HDD 選択スイッチの設定

本商品の HDD 選択スイッチは次のとおりです。必ず本商品の電源がオフになっている状態で、お使いの環境に合わせて設定してください。

■ DIP スイッチ設定①

スイッチ 1、スイッチ 2 では接続するハードディスクを台数の設定します。使用するハードディスクの台数に合わせて設定します。ハードディスクの台数によって使用できる RAID も変わります。

ハードディスクの台数と DIPスイッチ		ハードディスク2台の場合	ハードディスク3台の場合	ハードディスク4台の場合
		HDD 1 HDD 2 / ON 1 2 3	HDD 1 HDD 2 HDD 3 / ON 1 2 3	HDD 1 HDD 2 HDD 3 HDD 4 / ON 1 2 3
設定できる RAIDモード	RAID 0 (スパニング、JBOD)	○	×	○
	RAID 0 (ストライピング)	○	×	○
	RAID 1 (ミラーリング)	○	×	×
	RAID 3	×	○	○
	RAID 5	×	○	○
	RAID 10 (1+0)	×	×	○

■ DIP スイッチ設定②

スイッチ 3 では接続したハードディスクの最大ボリューム容量を設定します。本商品を接続するパソコンの OS、接続したハードディスクの容量によって設定します。お使いの OS が Windows Vista または Mac OS X 10.4 以降で、接続するハードディスクが 2TByte 以上の場合は GPT を、それ以外は MBR を選んで使用してください。

スイッチ	ON 1 2 3	ON 1 2 3
対応OS	Windows Vista、 Mac OS X 10.4以上	Windows Vista、Windows XP Windows 2000
最大ボリューム容量	8TByte (GPT)	2TByte (MBR)

・Windows XP (32bit) /Windows 2000 では 2TByte 以上のボリュームを使用できません。

・本商品の電源がオンになっている状態でスイッチの操作はしないでください。故障の原因になります。

2.3　ハードディスクを取り付ける

本商品に使用できるハードディスクを取り付ける手順を説明します。本商品は、使用するハードディスクの台数に応じて、あらかじめハードディスクの台数、最大ボリューム容量の設定をする必要があります。まだ設定をしていない場合は、P.23「2.2 HDD 選択スイッチを設定する」をご覧ください。

・本商品に取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。

・本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。

・本商品は RAID の構築を設定して電源をオンにすることで、自動的に RAID の構築が始まります。また、RAID構築のあとにハードディスクを追加、RAIDの変更をすると、再度 RAID の構築が必要となります。その際、取り付けたハードディスクのデータはすべて消去されますので、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。

・本商品は必ずハードディスク 2 台以上を接続して使用してください。1 台では正しく動作しません。

・本商品では、RAID の設定に応じて 1 台または 2 台のハードディスクに障害が発生してハードディスクを取り替えた場合、本商品の電源をオンにすることで、自動的にリビルド（再構築）されます。リビルド中は本商品の電源をオフにしないでください、故障の原因になります。詳しいリビルドの動きについては、P.50「3.1.2 オートリビルド（自動再構築）について」をご覧ください。

■使用できるハードディスク

本商品で使用できるハードディスクは次のとおりです。

・SATA（3.0Gbps、1.5Gbps）

・3.5 インチ（101.6（W）× 146.6（D）× 25.8（H）mm）

・2TByte × 4（最大）

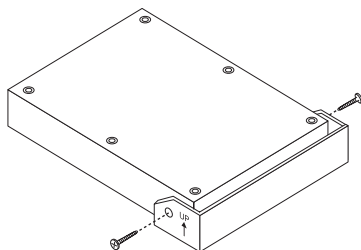
※動作確認済みのハードディスクについては、コレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

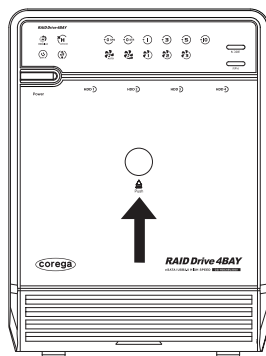
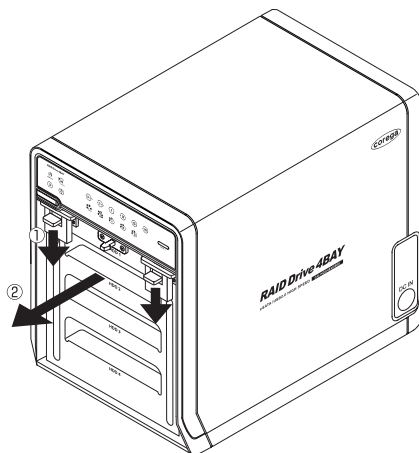
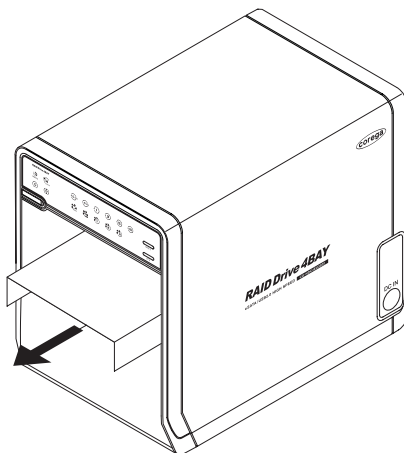
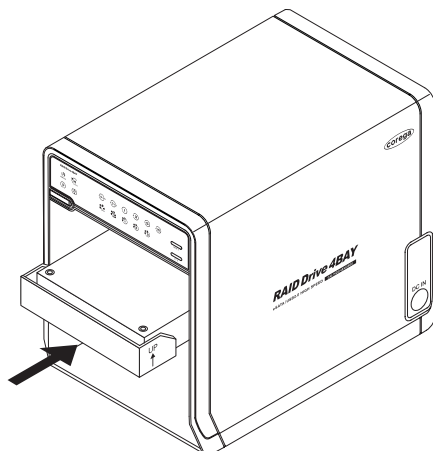
取り付け方法は、P.26「2.3.1 ハードディスクの取り付け」をご覧ください。

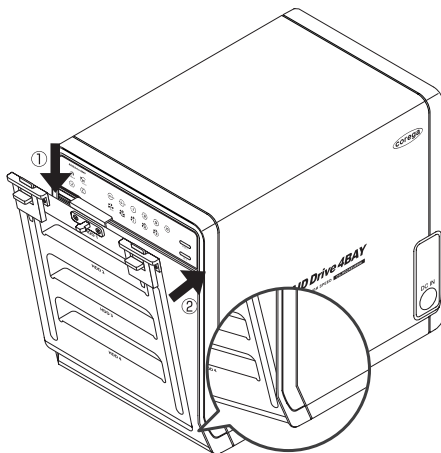
2.3.1　ハードディスクの取り付け

本商品が使用できるようにハードディスクを取り付ける手順を説明します。

1　**本商品に取り付けるハードディスクすべてに本商品付属のハードディスク固定用ハンドルを取り付けます。**

ハードディスク固定用ハンドルは、各ハードディスクのSATA 端子とは反対の前面に、付属のハードディスク固定用ネジで固定します。

メモ　ハードディスク固定用ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。

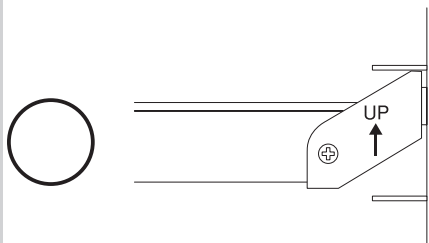
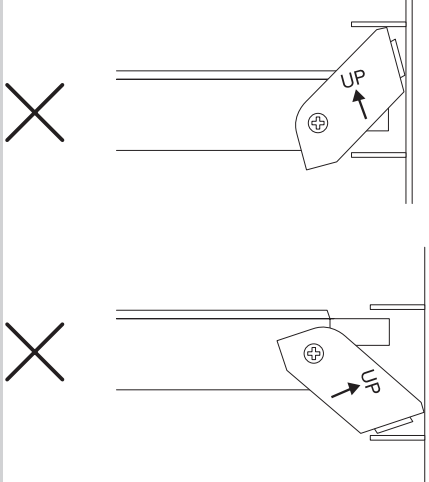
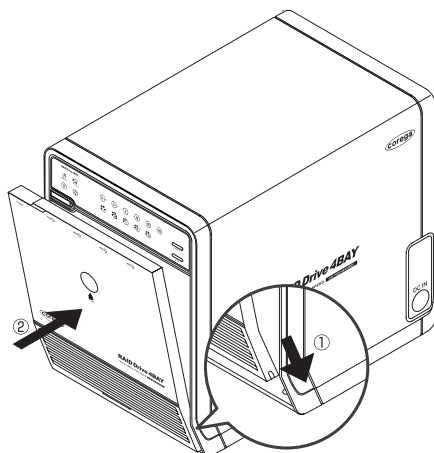
2　**本商品のカバー開閉部の「Push」を押して、カバーを開いて取り外します。**

3 図のように固定金具の左右のレバーを同時に下ろし、手前に引いて取り外します。

4 ハードディスク収納部から保護材を取り外します。

5 ガイドに沿ってハードディスクを取り付けます。ハードディスクはカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

- 本商品にハードディスクを取り付ける際は、本商品を必ず平らな場所に水平に置いて、ハードディスクを取り付けてください。本商品の取り付け口を上に向けてハードディスクを取り付ける場合、落下などによるハードディスクの故障の原因となります。
- 本商品は、すでにフォーマットされたハードディスクであっても接続して RAID 構築をすることで、再度フォーマットをする必要があります。データが入っているハードディスクを接続してお使いになる場合は、あらかじめお客様の責任に応じてバックアップを取っておいてください。
- 複数のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。

6　固定金具を取り付けます。

①固定金具を本体下部の溝にはめ込みます。

②接続されたハードディスクに取り付けられたハードディスク固定用ハンドルが垂直になるようにして、固定金具の左右のレバーを本体にカチッと音が鳴るまでしっかりと押し込みます。

固定金具を無理に取り付けて、ハードディスクが正しく本体に固定されないと故障の原因になります。P.30 の注意をご覧になり正しく取り付けられていることを確認してください。

固定金具は次の例を参照し、正しく取り付けてください。無理に取り付けをすると故障の原因になります。

・ハードディスク固定用ハンドルが垂直に当たるようにして、ハードディスクを固定します。

・ハードディスク固定用ハンドルが上、または下を向いた状態で無理に固定金具を取り付けると、故障の原因になります。

7　カバーを取り付けます。

①本体の出っ張りにカバーの取り付け口を取り付けます。

②カチッと音が鳴るまで本体に向かってカバーを押し込みます。

以上で、ハードディスクの取り付けは完了です。

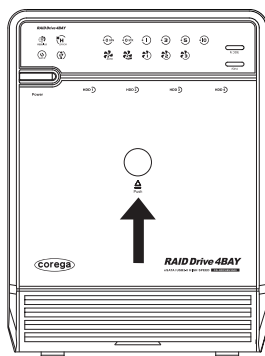
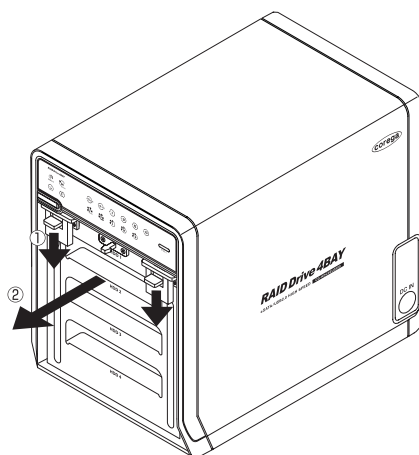
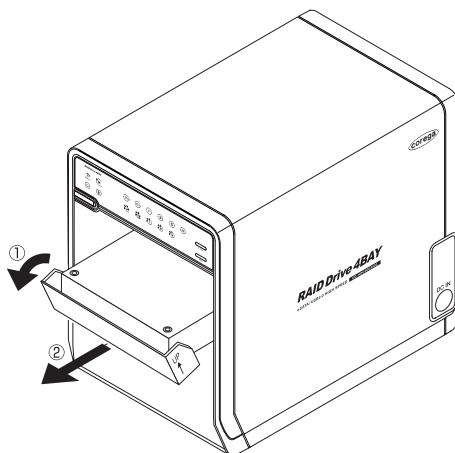
引き続き、P.34 「2.4 本商品を接続する」をご覧ください。

■ハードディスクを取り外す

本商品に接続したハードディスクを取り外す方法を説明します。

・本商品からハードディスクを取り外す際は、本商品を必ず平らな場所に水平に置いて、ハードディスクを取り外してください。本商品の取り付け口を上に向けてハードディスクを取り外す場合、落下などによるハードディスクの故障の原因となります。

・本商品からハードディスクを無理に引き出して取り外さないでください。故障の原因になります。

1 本商品のカバー開閉部の「Push」を押して、カバーを開いて取り外します。

2 図のように固定金具の左右のレバーを同時に下ろし、手前に引いて取り外します。

3　本商品からハードディスクを取り外します。

①ハードディスクに取り付けたハードディスク固定用ハンドルを軽く下に引き下げると、ハードディスクがコネクタから外れ少し前に引き出されます。

②ハードディスク固定用ハンドルを持って、本商品のガイドに沿ってハードディスクを水平に引き出します。

ハードディスク固定用ハンドルを力強く引き下げないでください。故障の原因になります。

以上で、ハードディスクの取り外しは完了です。

2.4　本商品を接続する

本商品とパソコンを USB ケーブルまたは eSATA ケーブルで接続する方法を説明します。

	対応 OS	対応環境
USB 接続	Windows Vista/XP/2000 Mac OS X 10.4 以降	USB2.0 端子を標準搭載しているDOC/V パソコン USB 端子を標準搭載しているMacintosh
eSATA 接続	Windows Vista/XP/2000	eSATA 端子を標準搭載しているDOS/V パソコン eSATA 端子を内部に標準搭載している DOS/V パソコン

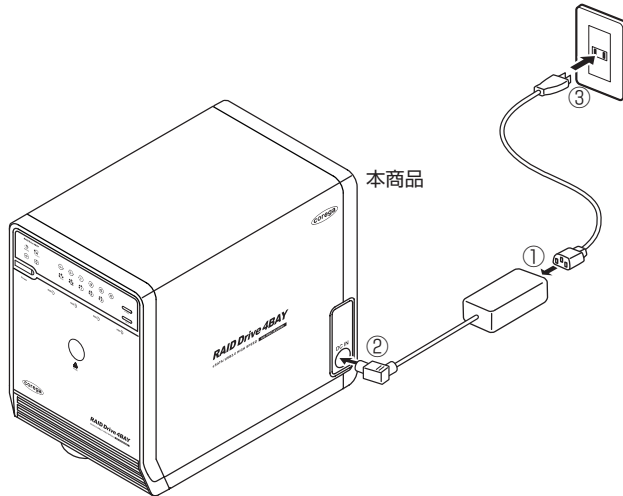
- 本商品は、USB ケーブルと eSATA ケーブルの両方を同時に使用できません。
- RAIDコントローラ機能を搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラ機能を停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- RAID 構成しているパソコンをお使いの場合や、パソコンの RAID コントローラ機能を停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
- Macintosh は、USB2.0 接続のみ対応しています。

☞ P.35 「2.5　USB ケーブルで接続する」

☞ P.41 「2.6　eSATA ケーブルで接続する」

2.5　USB ケーブルで接続する

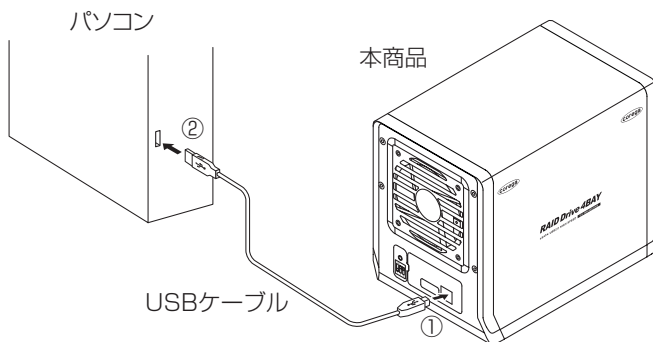
本商品とパソコンを USB ケーブルで接続する手順を説明します。

1　AC アダプタを接続します。

①電源ケーブルを AC アダプタに接続します。

② DC プラグを本商品に接続します。

③電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

- 必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- 本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

2 USB ケーブルでパソコンに接続します。

①USBケーブル(シリーズB)のコネクタを本商品に接続します。

② USB ケーブル(シリーズ A)のコネクタをパソコンに接続します。

本商品は、USB ケーブルと eSATA ケーブルの両方を同時に使用できません。

以上で、USB ケーブルでの接続は完了です。

引き続き **P.48**「3.1 RAID を設定する」で、RAID の設定をします。

2.5.1　USB ケーブルの取り外し方法

お使いのパソコンから本商品に接続している USB ケーブルを取り外すときや、パソコンの電源がオンの状態で本商品の電源をオフにするには、必ず次の手順に従ってください。USB ケーブルの取り外し方法はお使いの環境によって異なります。

2

本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD Status LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

☞ P.37「■ Windows Vista の場合」

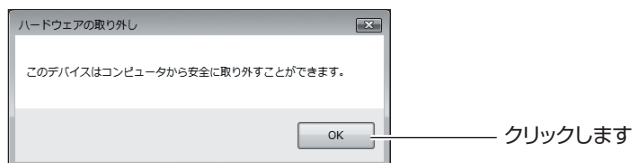
☞ P.38「■ Windows XP の場合」

☞ P.39「■ Windows 2000 の場合」

☞ P.40「■ Macintosh の場合」

■ Windows Vista の場合

1　画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置 を安全に取り外します」をクリックします。

※画面は例です。

2　［OK］をクリックします。

3 本商品のPowerボタンを3秒ほど押して、電源をオフにします。

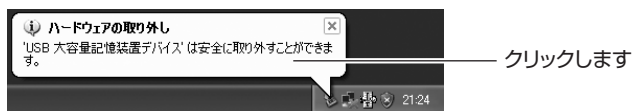
4 本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Windows Vista での USB ケーブルの取り外しは完了です。

■ Windows XP の場合

1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置 を安全に取り外します」をクリックします。」

※画面は例です。

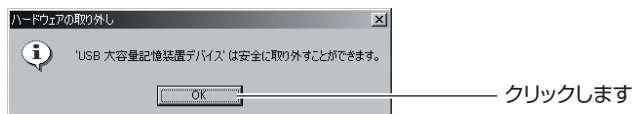
2 次の画面が表示されたら、本商品のPowerボタンを3秒ほど押して、電源をオフにします。

3 本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Windows XP の USB ケーブルの取り外しは完了です。

■ Windows 2000 の場合

1　画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス を停止します」をクリックします。

※画面は例です。

2　［OK］をクリックします。

3　本商品のPowerボタンを3秒ほど押して、電源をオフにします。

4　本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Windows 2000 のUSB ケーブルの取り外しは完了です。

■ Macintosh の場合

1 デスクトップにある本商品のディスクアイコンをゴミ箱に入れます。

※画面は例です。

2 本商品のPowerボタンを3秒ほど押して、電源をオフにします。

3 本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Macintosh の USB ケーブルの取り外しは完了です。

2.6　eSATA ケーブルで接続する

本商品とパソコンが eSATA ケーブルで接続する手順を説明します。すでにお使いのパソコンに eSATA 端子がある場合は、P.43「2.6.2　eSATA ケーブルの接続」に進みます。

2.6.1　eSATA ブラケットの取り付け

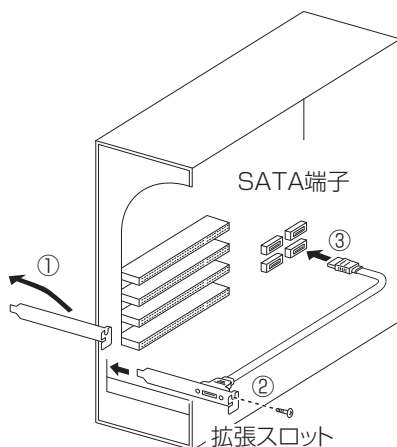
本商品付属の eSATA ブラケットを取り付ける手順を説明します。

- パソコンに取り付ける前に、必ずパソコンの電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いていください。感電するおそれがあります。
- 雷が発生しているときは、取り付けないでください。落雷により感電するおそれがあります。

- 取り付け前に、あらかじめほかの金属部分（水道の蛇口、ドアノブなど）に触れて体内の静電気を放電してください。
- このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。
- RAID コントローラ機能を搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラ機能を停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- RAID を構成しているパソコンをお使いの場合や、パソコンの RAID コントローラ機能を停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
- eSATA 接続は Macintosh に対応していません。

1　パソコンの電源をオフにして、パソコンの電源プラグを電源コンセントから抜き、パソコンの本体カバーを外します。

パソコンの本体カバーの取り外し方法または eSATA ブラケットが取り付けられるかは、お使いのパソコンの取扱説明書を見るか、パソコンメーカにお問い合わせください。

2　PCI バススロットに eSATA ブラケットを取り付けます。

① PCIバススロットのスロットカバーを取り外します。カバーを固定していたネジはeSATAブラケットの取り付けで使用します。

② eSATA ブラケットをスロットカバーに取り付け、①で取り外したネジで固定します。

③メインボードの SATA 端子にケーブルのコネクタを接続します。

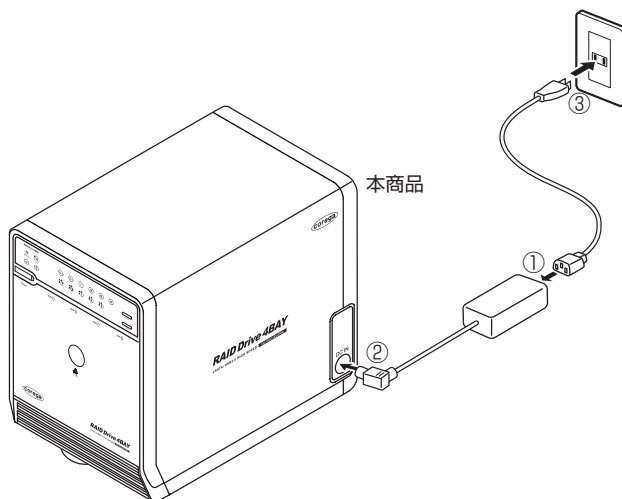
3　パソコンのカバーを取り付けます。

以上で、eSATAブラケットの取り付けは完了です。

引き続き、**P.43**「2.6.2 eSATA ケーブルの接続」をご覧ください。

2.6.2　eSATA ケーブルの接続

本商品とパソコンを eSATA ケーブルで接続します。

1　AC アダプタを接続します。

①電源ケーブルを AC アダプタに接続します。

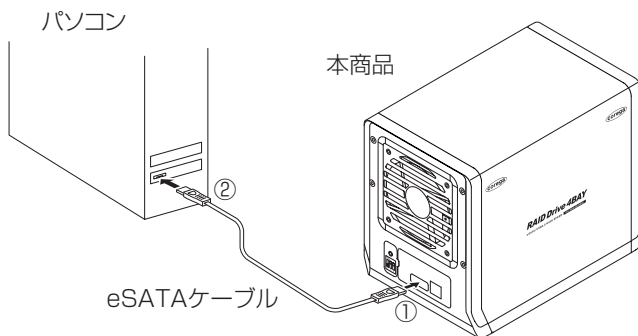
② DC プラグを本商品に接続します。

③電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

・必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。

・本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

・本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

2 eSATA ケーブルでパソコンと接続します。

① eSATA ケーブルのコネクタを本商品に接続します。

② eSATA ケーブルのコネクタをパソコンに接続します。

本商品は、USB ケーブルと eSATA ケーブルの両方を同時に使用できません。

引き続き **P.48**「3.1　RAID を設定する」で、RAID の設定をします。

2.6.3　eSATA ケーブルの取り外し方法

お使いのパソコンから本商品に接続している eSATA ケーブルを取り外すには、必ず次の手順に従ってください。eSATA ケーブルの取り外し方法はお使いの環境によって異なります。

・本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD Status LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

・本商品は、eSATA のホットプラグに対応していません。

1　**パソコンの電源をオフにします。**

2　**本商品の Power LED が橙色に点灯してから、パソコンの eSATA コネクタから eSATA ケーブルを取り外します。**

以上で、eSATA ケーブルの取り外しは完了です。

第３章
本商品の設定方法

この章では、本商品で設定できる RAID について説明します。

3.1　RAID を設定する

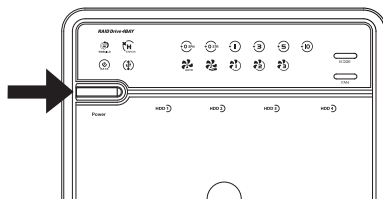
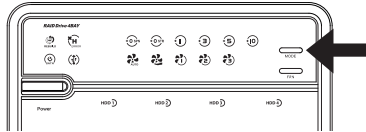
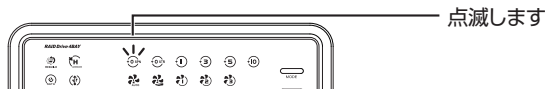
本商品は 2 台以上のハードディスクを接続して RAID を構成して使用します。RAID 1/3/5 の設定であればハードディスク 1 台、RAID 10 であれば場合よってハードディスク 2 台に障害が起きても、新しいハードディスクを取り付けてリビルド（再構築）することで、データを復旧することができます。

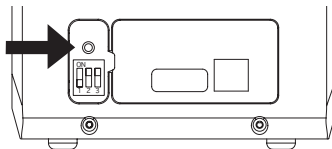
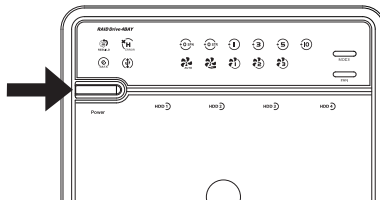
3.1.1　RAID の設定

本商品の RAID の設定は次のように設定します。画面は例です。工場出荷時は RAID は RAID 0（スパニング）に設定されています。本商品は、あらかじめ使用するハードディスクの台数に応じて、本体背面の HDD 選択スイッチ（DIP スイッチ）を設定する必要があります。まだ HDD 選択スイッチの設定をしていない場合は、**P.23**「2.2　HDD 選択スイッチを設定する」をご覧になり、HDD 選択スイッチの設定をしてから RAID の設定をしてください。

詳しくは、**P.73「付録**　RAID とは」をご覧ください。

- 本商品に取り付けたハードディスクはいかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。
- 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、RAID 構築時にすべて消去されます。
- 本商品で　RAID　構築したあとにハードディスクを追加するには、再度RAID を構築し直す必要があります。その際、取り付けたハードディスクのデータはすべて消去されます。お客様の責任において、取り付けるハードディスクのデータをあらかじめバックアップしておいてください。
- 複数のハードディスクを使って　1　つのボリュームを構築する場合は、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。
- 本商品は複数のボリュームを作成することはできません。

1　本商品の Power ボタンを押して電源を入れます。

2 MODE ボタンを３秒(RAID LED が点滅するまで)押して離します。

3 RAID LED が点滅している間に、MODE ボタンを押してお使いになる RAID 設定を選択します。

RAID LED の詳しい説明は、P.15「1.2　各部の名称と機能」をご覧ください。

4 本体背面の RAID 設定ボタンを押します。RAID 設定ボタンを押すと本体の電源が自動的にオフになります。

5 本体の電源をオンにすると RAID の構築が始まります。

6　本体の前面の HDD Status LED がすべて点灯（青）すると RAID の構築は完了です。

・RAID の構築時間は、接続したハードディスクの容量により異なります。

・HDD Status LED がすべて青色に点灯するまで本商品の電源をオフにしないでください。故障の原因になります。

以上で、RAID の設定は完了です。

引き続き **P.51** 「3.2 接続を確認する」をご覧ください。

3.1.2　オートリビルド（自動再構築）について

本商品を RAID 1、3、5、10 にして取り付けた複数のハードディスクのうち 1 台が故障した場合、故障したハードディスクを新しいハードディスクに取り替えることで自動的にリビルドされます。
リビルドしている間は、本商品前面の Rebuild LED が赤く点灯、HDD Status LED が紫と赤に交互に点灯、HDD Error LED が赤く点灯します。また、リビルド中に PC 連動電源機能は動作しません。リビルド終了時にサスペンドしてハードディスクが正常に使用できるようになります。
リビルドがはじまったら、本商品前面の HDD Status LED がすべて青色に点灯し、HDD Error LED が消灯した状態に戻るまで必ずお待ちください。リビルド完了時間は、取り付けたハードディスクの容量によって異なります。

リビルド中は本商品の電源をオフにしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。故障の原因になります。

3.2　接続を確認する

本商品がお使いのパソコンに正しく認識されていることを確認します。
接続の確認は、本商品の設置、接続が完了していることを前提にしています。

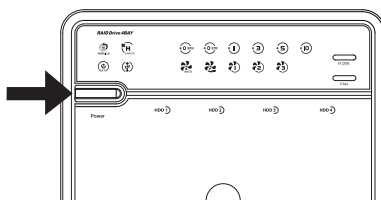
本商品の接続の確認は、お使いの OS によって手順が異なります。

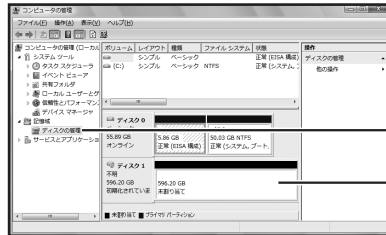
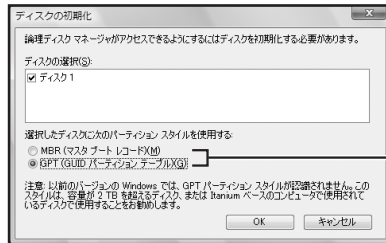
☞ P.52 「3.2.1　Windows Vista の場合」
☞ P.54 「3.2.2　Windows XP の場合」
☞ P.57 「3.2.3　Windows 2000 の場合」
☞ P.60 「3.2.4　Macintosh の場合」

3.2.1　Windows Vista の場合

お使いのパソコンが Windows Vista の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1　パソコンを起動します。

2　本商品の Power ボタンを押して電源を入れます。

3　［スタート］をクリックし、「コンピュータ」を右クリックして、「管理」をクリックします。

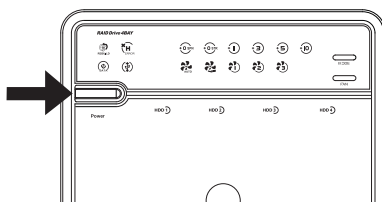
4　「ディスクの管理」をクリックし、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。

「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。P.23「2.2　HDD 選択スイッチを設定する」の DIP スイッチ設定②で選択した設定に合わせて、「GPT」または「MBR」を選択し、OS 準拠に従いハードディスクをフォーマットしてください。

以上で、Windows Vista での確認は完了です。

引き続き P.61「3.3　ハードディスクをフォーマットする」をご覧ください。

3.2.2　Windows XP の場合

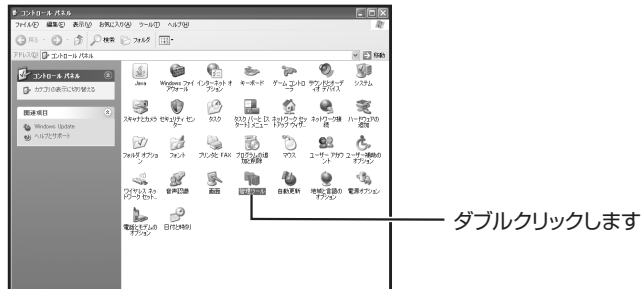
お使いのパソコンが Windows XP の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

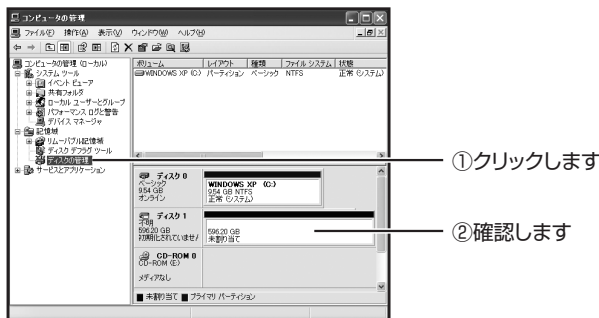
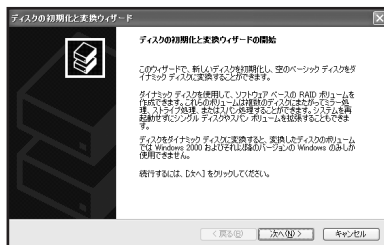
1　パソコンを起動します。

2　本商品の Power ボタンを押して電源を入れます。

3　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

4 「クラシック表示に切り替える」をクリックします。

すでにクラシック表示が表示されている場合は、手順 5 に進みます。

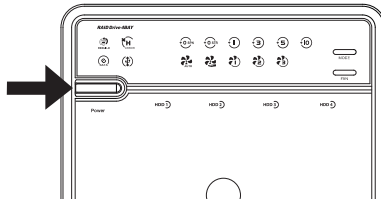
5 「管理ツール」をダブルクリックします。

6 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。

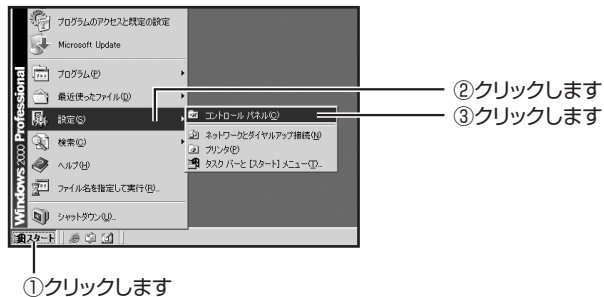
7 「ディスクの管理」をクリックして「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。

「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。必要に応じてOS準拠の手順に従ってハードディスクをフォーマットしてください。

以上で、Windows XPでの確認は完了です。

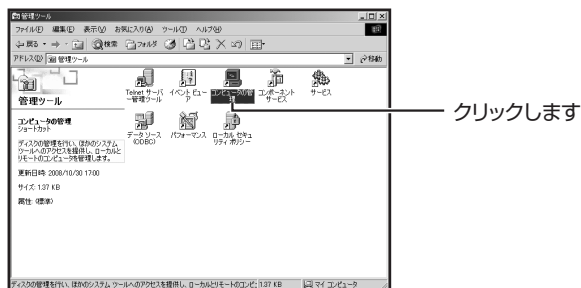
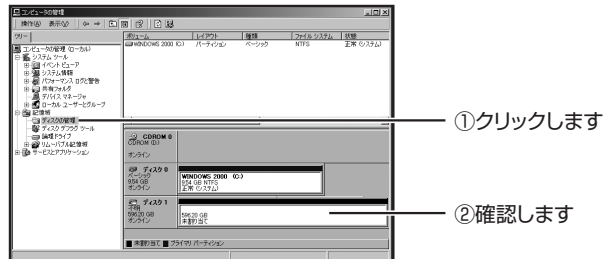
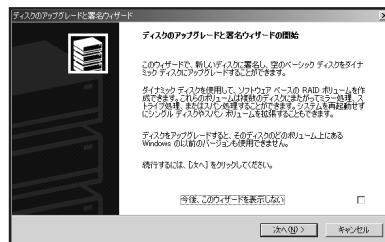
引き続き**P.61**「3.3 ハードディスクをフォーマットする」をご覧ください。

3.2.3　Windows 2000 の場合

お使いのパソコンが Windows 2000 の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1　本商品の Power ボタンを押して電源を入れます。

2　パソコンを起動します。

3　［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックします。

4 「管理ツール」をダブルクリックします。

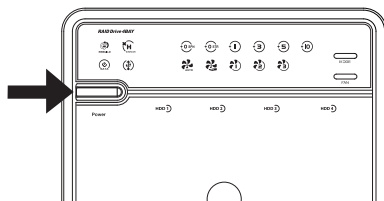
5 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。

6 「ディスクの管理」をクリックして「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。

「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。必要に応じて OS 準拠の手順に従ってハードディスクをフォーマットしてください。

以上で、Windows 2000 での確認は完了です。

引き続き P.61「3.3 ハードディスクをフォーマットする」をご覧ください。

3.2.4　Macintosh の場合

お使いのパソコンが Macintosh の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1　パソコンを起動します。

2　本商品の Power ボタンを押して電源を入れます。

3　本商品のディスクアイコンが表示されていることを確認します。

※画面は例です。

以上で、Macintosh での確認は完了です。

引き続き P.61「3.3 ハードディスクをフォーマットする」をご覧ください。

3.3　ハードディスクをフォーマットする

お使いの OS に合わせてハードディスクをフォーマットします。ハードディスクのフォーマット方法は各 OS のヘルプをご覧ください。

3.3.1　ハードディスクのフォーマット容量

各 OS 内で表示されるフォーマットしたハードディスクの容量の表示は、OS ごとに計算方法が異なるために表示される数値に違いがでます。

・ハードディスクメーカの容量は 1GB ＝ 1,000MB、1MB ＝ 1,000,000 バイトで計算される場合があります。

・OS 上で表示される容量は 1GB ＝ 1,024MB、1MB ＝ 1,048,576 バイトで計算される場合があります。

第 4 章
Q&A

この章では、トラブルの対処方法やよくある質問について説明します。

4.1 トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	**取扱説明書（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは…

STEP2	**本章の「Q&A」を確認する** ☞ **P.65**「4.2.1 電源が入らない」 ☞ **P.65**「4.2.2 電源が突然オフになった」 ☞ **P.66**「4.2.3 本商品を認識しない」 ☞ **P.67**「4.2.4 ハードディスクを認識しない」 ☞ **P.68**「4.2.5 RAID 構築時のトラブル」 ☞ **P.68**「4.2.6 オートリビルド（自動再構築）時のトラブル」

それでも解決できないときは…

STEP3	コレガホームページ（**http://corega.jp/**）の情報を活用する 本商品の最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。

それでも解決できないときは…

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は取扱説明書（本書）の裏表紙をご覧ください。

4.2　Q&A

よくあるトラブルと、その対処方法を説明します。

4.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、次の内容を確認してください。

現象	・電源が入らない ・Power LED が点灯しない
対処方法	電源ケーブルまたは AC アダプタに断線がないか、正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.80「保証と修理について」

4.2.2　電源が突然オフになった

本商品を使用していて突然電源がオフになったときは、次の内容を確認してください。

現象	・Power LED が点灯（橙）になる ・電源がオフになる
対処方法	Power LED が点灯（橙）になっていないか確認します。Power LED が点灯（橙）であれば、PC 連動電源機能により一時的に本商品がスリープモードになっています。 詳しくは、**P.70「付録**　PC 連動電源機能について」をご覧ください。 次のことを確認してください。 ・本商品を接続しているパソコンの電源がオフになっている ・接続しているパソコンが休止状態になっている ・接続しているパソコンがスリープ状態になっている ・本商品とパソコンとを接続しているケーブルが抜けている Power LED が消灯している場合は、次のことを確認してください。 ・本商品の電源プラグが電源コンセントから抜けていないかを確認します。もしも抜けていないようであれば、電源ケーブルまたは AC アダプタが断線した可能性があります。 ・本商品の Power ボタンを押します。Power LED が点灯（青色または橙色）し本商品が起動しない場合は、本商品が故障した可能性があります。 次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.80「保証と修理について」

4.2.3　本商品を認識しない

お使いのパソコンが本商品を認識しない場合は、こちらをご覧ください。

現象	パソコンが本商品を認識しない
対処方法	次のことを確認します。 ・本商品の接続の確認をします。詳しくは、P.51「3.2　接続を確認する」をご覧ください。 ・USB ケーブルまたは eSATA ケーブルに断線がないか確認してください。 ・USB ケーブルまたは eSATA ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。 ・お使いのパソコンで USB ポート、または eSATA ポートが無効になっていないかを確認してください。本商品が正しく認識されているかの確認は、P.51「3.2 接続を確認する」をご覧ください。 それでも解決しない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.80「保証と修理について」

4.2.4　ハードディスクを認識しない

ハードディスクを認識しない場合、こちらをご覧ください。

現象	本商品に取り付けたハードディスクを認識しない
対処方法	次のことを確認してください。 ・HDD ERROR LED が点灯していないかを確認してください。点灯している場合は、ハードディスクに障害が発生しています。本体内部のHDD Error LEDを確認し、必要に応じてハードディスクを交換してください。RAID の設定によっては復旧する場合があります。詳しくは、**P.73「付録　RAID とは」**をご覧ください。 ・接続したハードディスクの台数に応じたHDD 選択スイッチを設定しているかを確認してください。詳しくは、**P.23**「2.2 HDD 選択スイッチを設定する」をご覧ください。 ・本商品にハードディスクがきちんと取り付けられているかを確認してください。 ・ハードディスクがきちんと取り付けられていても認識しない場合は、必要に応じてハードディスクをフォーマットしてください。 それでも認識しない場合は、本商品またはハードディスクが故障している可能性があります。

Q&A

4.2.5 RAID 構築時のトラブル

本商品の RAID 構築時／再構築時にトラブルが起きた場合は、次の項目を確認してください。

現象	① RAID 構築が終わらない ② RAID 構築が失敗した ③ RAID の設定を間違えてしまった ④ RAID 構築中にハードディスクを取り外してしまった
対処方法	①本商品 RAID の構築をした場合、接続したハードディスクのデータはすべて消去されます。RAID の構築時間は、接続したハードディスクの容量に依存します。目安は次のとおりです。ハードディスク 1TByte：約 10 ～ 15 時間 ② HDD Error LED などが点灯し、RAID が構築されなかった場合、接続しているハードディスクが故障している可能性があります。本商品の内部にある HDD Error LED を確認し、LED が点灯（赤）しているハードディスクを交換してください。 ③再度 RAID の構築をする必要があります。その際、接続されたハードディスクのデータはすべて消去されるので、お客様の責任に応じてデータのバックアップをしてください。 ④ホットスワップに対応しているため、再度ハードディスクを装着すると自動的に RAID の構築が始まります。もし、RAID の構築が正常に完了しなかった場合は、本商品を再起動してください。再起動後、RAID の構築を開始します。

4.2.6 オートリビルド（自動再構築）時のトラブル

現象	オートリビルド（自動再構築）中に電源を抜いてしまった
対処方法	再度本商品の電源をオンにすると自動的にリビルド（再構築）を再開します。万が一、本商品の内部にある HDD Error LED の点灯が増えている場合は、ハードディスクの故障が増え、正常にリビルドできない場合があります。

付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

PC 連動電源機能について

本商品に接続したパソコンの電源に連動して、本商品の電源をスリープモード（低消費電力）にする機能です。

・PC 連動電源機能は、パソコンの環境によっては連動しない場合があります。

・お使いのパソコンによって、パソコンのスリープ、休止での電源連動に多少時間がかかる場合があります。

・リビルド中は PC 連動電源機能は動作しません。リビルド終了時にサスペンドして、ハードディスクが正常に使用できようになります。

■パソコンと本商品が連動する場合

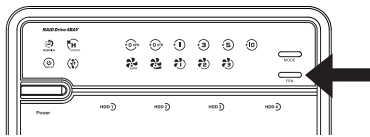
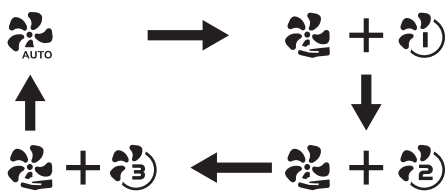
パソコンの動作	本商品の動作	本商品の Power LED
電源オン→オフ	電源オン→スリープ	点灯（青）→点灯（橙）
電源オフ→オン	スリープ→電源オン	点灯（橙）→点灯（青）
電源オン→休止	電源オン→スリープ	点灯（青）→点灯（橙）
休止→電源オン	スリープ→電源オン	点灯（橙）→点灯（青）
電源オン→スリープ	電源オン→スリープ	点灯（青）→点灯（橙）
スリープ→電源オン	スリープ→電源オン	点灯（橙）→点灯（青）

■パソコンと本商品が連動しない場合

パソコンの動作	本商品の動作	本商品の Power LED
電源オン→オフ	電源オン→電源オン	点灯（青）→点灯（青）
電源オフ→オン	電源オン→電源オン	点灯（青）→点灯（青）
電源オン→休止	電源オン→電源オン	点灯（青）→点灯（青）
休止→電源オン	電源オン→電源オン	点灯（青）→点灯（青）
電源オン→スリープ	電源オン→電源オン	点灯（青）→点灯（青）
スリープ→電源オン	電源オン→電源オン	点灯（青）→点灯（青）

冷却ファンコントロール機能について

本商品は、冷却ファンコントロール機能を搭載し、本体内部の温度に合わせて冷却ファンの回転数を自動的に変えたり、手動で設定したりできます。

冷却ファンコントロール機能は本商品の前面の FAN ボタンを押して設定します。

冷却ファンの速度設定はFANボタンを押すごとに次のように変わります。

■冷却ファンの回転数を自動に設定する場合

冷却ファンの回転数を自動（AUTO）にする手順は次のとおりです。

1　本商品前面のFANボタンを押して、AUTO LEDを点灯させます。

冷却ファンの回転数は、内部の温度によって、次の表のように自動的に変わります。

内部温度	LED の状態	ファンの回転数
44 ℃以下	1LED 点灯（青）	1200 ～ 1800rpm
45 ～ 54 ℃	2LED 点灯（青）	1800 ～ 2500rpm
55 ℃以上	3LED 点灯（青）	2500 ～ 3500rpm

■冷却ファンの回転数を手動で設定する場合

冷却ファンの回転数を手動で設定する手順は次のとおりです。

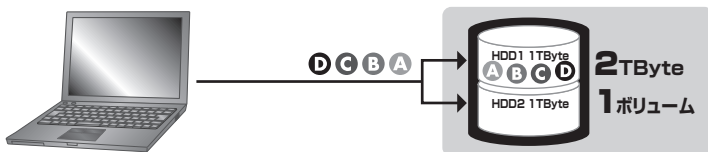
1 本商品前面の FAN ボタンを押して、手動 LED を点灯させます。

内部温度	LED の状態	ファンの回転数
ー	1LED 点灯（青）	1200pm
ー	2LED 点灯（青）	1800rpm
ー	3LED 点灯（青）	2500rpm

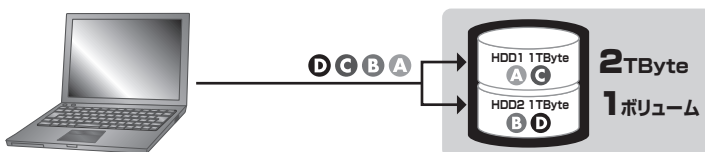
RAID とは

RAID は「Redundant Arrays of Inexpensive Disks」の略称で「レイド」と呼びます。複数台のハードディスクを並列に接続して、1 台のハードディスク装置のように管理することで、アクセスを高速化することや、障害への耐久性を向上させることができます。
RAID には高速性や安全性によっていくつかのレベルがありますが、本商品は RAID 0（スパニング）、RAID 0（ストライピング）、RAID 1、RAID3、RAID 5、RAID 10 に対応しています。それぞれの概要を説明します。

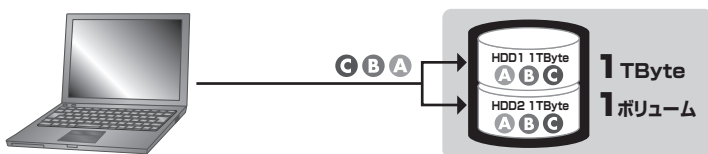
■ RAID 0（スパニング）

RAID 0（スパニング）は、JBOD（Justa Bunch Of Disks）とも呼ばれ、2 台のハードディスクを 1 台のハードディスクとして使います。

図では、本商品で 2 台のハードディスクを RAID 0（スパニング）で 1 ボリューム作成する例を示しています。2 台のハードディスクを 1 台とみなして使用しますので、使用できる容量はハードディスク 2 台分（2TByte）になります。A から D のデータを書き込む場合、通常のハードディスクに転送する場合と同じように書き込まれるため、速度は変わりません。また、データを保護する機能が備わっていないため、万が一 HDD 1 に障害が発生した場合には、A から D のすべてのデータが復旧できなくなります。

■ RAID 0（ストライピング）

RAID 0（ストライピング）は、複数台のハードディスクにデータ分散して書き込みます。複数台のハードディスクに分散してデータを読み書きしますのでアクセスが速くなります。ただし、1 台でもハードディスクに障害が発生した場合、データを再生成する機能はありませんので、データの読み書きができなくなります。

図では、本商品で 2 台のハードディスクを RAID 0（ストライピング）で 1 ボリューム作成する例を示しています。2 台のハードディスクを 1 台とみなして使用しますので、使用できる容量はハードディスク 2 台分（2TByte）になります。A から D のデータを書き込む場合、A の部分は HDD 1 に B の部分は HDD 2 にというように書き込まれます。そのため、万が一 HDD 1 に障害が発生した場合には、データの A と C の部分が失われてしまいますので、HDD 1 データは復旧できなくなります。

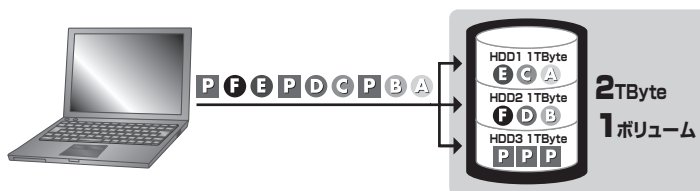
■RAID 1

RAID 1 は、2台のハードディスクに同じデータを書き込みます。このため「ミラーリング」と呼ばれています。1 台のハードディスクに障害が発生しても、もう1台のハードディスクに同じデータがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータを再生成することができ、安全性が高いといえます。同じデータを書き込みますので、アクセス速度は1台のときとそれほど変わりません。使用できるハードディスクの容量は、「搭載する中でもっとも容量の少ないハードディスク」になります。

図では、本商品で2台のハードディスクを RAID 1 で 1 ボリューム作成する例を示しています。2 台のハードディスクに同じデータを書き込みますので、使用できる容量は、ハードディスク1 台分（1TByte）になります。

AからCのデータを書き込む場合、AからCのすべてのデータが HDD 1 と HDD 2 に書き込まれます。そのため、万が一 HDD 1 に障害が発生した場合にも、A から C のデータは、HDD 2 で読み書きできます。また HDD 1 を取り替えることで、RAID 1 を復旧できます。ただし、HDD 1 と2 に障害が発生すると復旧できなくなります。

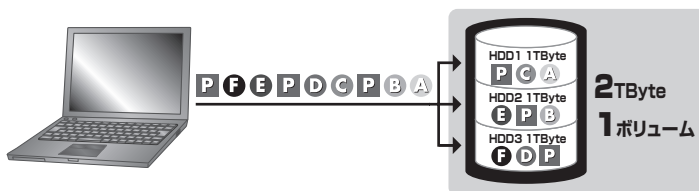
■RAID 3

RAID 3 は、データからパリティ（誤り訂正符号）を生成し、1 台のハードディスクに書き込みます。1 台のハードディスクに障害が発生しても、別の 1 台のハードディスクにパリティがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータ再生成することができ、安全性が高いといえます。ただし、パリティを生成しながらデータを書き込みますので、アクセス速度は少し遅くなります。

使用できるハードディスク容量は、「搭載するもっとも容量の少ないハードディスク×（台数－ 1）」になります。

図では、本商品で 3 台のハードディスクをRAID 3 で 1 ボリューム作成する例を示します。3 台のハードディスクを 1 台とみなして 1 台分の容量をパリティとして使用しますので、使用できる容量はハードディスク 2 台分（2TByte）になります。A からF までのデータを書き込む場合、A の部分は HDD 1 に、B の部分は HDD 2 に、AB から生成したパリティは HDD 3 に…というように書き込まれます。そのため、万が一に HDD 1 に障害が発生した場合にも、HDD 2 の B の部分と、HDD 3 の AB から生成したパリティは A の部分を再生成できます。また、HDD 1 を取り替えることで RAID 3 を復旧できます。ただし、2 台以上のハードディスクに障害が発生すると、データが復旧できなくなります。

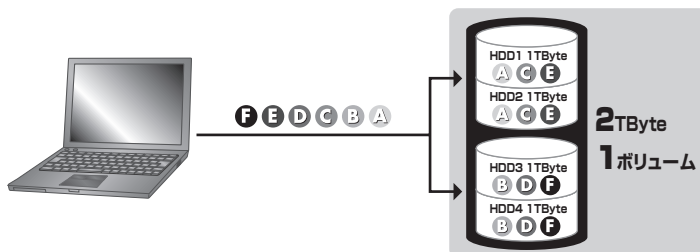
■RAID5

RAID 5 は、データからパリティ（誤り訂正符号）を生成し、データとともに複数のドライブに分散して書き込みます。RAID 3 との違いは、生成されるパリティも複数ドライブに分散されることです。1 台のハードディスクに障害が発生しても、ほかのハードディスクにデータとパリティがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータを再生成することができ、安全性が高いといえます。ただし、パリティを生成しながらデータを書き込みますのでアクセス速度は少し遅くなります。

使用できるハードディスクの容量は、「搭載するもっとも容量の少ないハードディスク×（台数－1）」になります。

図では、本商品で 3 台のハードディスクを RAID 5 で 1 ボリューム作成する例を示します。3 台のハードディスクを 1 台とみなして 1 台分の容量をパリティとして使用しますので、使用できる容量はハードディスク 2 台分（2TByte）になります。

A から F までのデータを書き込む場合、A の部分は HDD 1 に、B の部分は HDD 2 に、AB から生成したパリティは HDD 3 に…というように書き込まれます。そのため、万が一 HDD 1 に障害が発生した場合にも、HDD 2 の B の部分と HDD3 の AB から生成したパリティで、A の部分を再生成できます。また、HDD 1 を取り替えることで RAID 5 を復旧できます。ただし、2 台以上のハードディスクに障害が発生すると、データが復旧できなくなります。

■RAID 10

RAID 10 は、RAID 0（ストライピング）と RAID 1 を組み合わせて、ミラーリングしたボリュームをストライピングします。このため「ミラーセットのストライピング」とも呼ばれています。複数台のハードディスクに分散してデータを読み書きしますのでアクセスが速くなります。使用できるハードディスクの容量は、「搭載するもっとも容量の少ないハードディスク×台数÷ 2」になります。

図では、本商品で 4 台のハードディスクをRAID 10 で 1 ボリューム作成する例を示しています。4 台のハードディスクのうち 2 台ずつに同じデータを書き込むため、使用できる容量はハードディスク 2 台分（2TByte）になります。1 台のハードディスクに障害が発生しても、ほかのハードディスクにデータがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータを再生成することができ、安全性が高いといえます。

A から F のデータを書き込む場合、A の部分は HDD 1 と 2 に、B の部分は HDD 3 と 4…というように書き込まれます。そのため、万が一 HDD 1（または 2）と HDD 3（または 4）の 2 台ハードディスクに障害が発生した場合でも、データを復旧することができます。ただし、ハードディスク 1 と 2（または3 と4）の 2 台のハードディスクに障害が発生した場合は、データを復旧することができません。

仕様一覧

項目		仕様
対応 PC		eSATA 端子、SATA 端子、USB 端子のいずれかを標準搭載した DOS/V パソコン、または USB 端子を標準搭載した Macintosh ※ SATA 端子を使用する場合は、付属の eSATA ブラケットをお使いください。
対応 OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Mac OS X 10.4 以降
サポート規格	**SATA**	SATA（3.0Gbps、1.5Gbps）
	USB	USB 2.0/1.1 規格準拠
取得承認		VCCI クラス B
外部インタフェース	**eSATA**	接続ポート：eSATA（7 ピン）メス
		転送速度：3.0Gbps（理論値）
	USB	接続ポート：USB シリーズ B（4 ピン）メス
		転送速度：480Mbps（理論値）
内部インタフェース	**SATA**	接続ポート：SATA（7 ピン）メス× 4
		転送速度：3.0Gbps（理論値）
		電源：SATA 電源コネクタ（15 ピン）メス× 4
対応 HDD	**HDD 形状**	3.5 インチ（101.6（W）× 146.6（D）× 25.8（H）mm）
	HDD 容量	2TByte（最大）
	接続可能台数	2 ～ 4 台
冷却ファン		あり
電源仕様（AC アダプタ）	**定格入力電圧**	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	1.6A
	定格出力	60W
環境条件	**動作時**	温度 0 ～ 40 ℃／湿度 5 ～ 90%（結露なきこと）
	保管時	温度－ 20 ～ 60 ℃／湿度 5 ～ 95%（結露なきこと）
外形寸法		126（W）× 215（D）× 166（H）mm 本体のみ（突起部を含まず）
質量		1.8kg 本体のみ

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■修理を依頼されるときの注意事項

・ **必ずハードディスクを取り外してください**

弊社に修理をご依頼される場合には、ハードディスクやほかの機器との接続ケーブル、および弊社保証の対象とならない部品などを、事前に本商品からお取り外しください。これらが本商品に付加された状態で弊社に引き渡された場合には、弊社ではこれらの管理について責任を負いかね、いったんお客様に返却させていただきます。

※ なお、輸送中に生じたハードディスク、およびハードディスクに記憶されたデータの破損、汚損、紛失、そのほか弊社保証の対象とならない部品に関連して生じうる一切の損害については、その責任を負いかねます。

・ **保証期間内外・対象有無にかかわらず、故障の場合は新品良品との交換となります**

そのため、設定された内容はすべて初期化されます。

・ **お使いのハードディスクのデータは保証できません**

本体を修理交換後、修理前にお使いになっていたハードディスクを装着しても、データの保証はいたしかねますのでご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

2009年　2月　初　版
2009年　8月　第三版

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙 ※ CG-HDC4EU3500 専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用いただきますようお願いします。

お問い合わせ日：　　　年　　月　　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：	FAX：	

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□□ Rev.□□		

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください)。

□トラブル　（□常に発生する　□特定の動作をすると発生する　□不定期に発生する）
□設定方法　（□初期など　□購入後）

□別紙あり（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

ー　このページをコピーしてお使いください　ー
メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

http://corega.jp/faq/

FAX　045-476-6294
電話　045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・商品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・接続構成
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。